

『自分は自分自身で変える』

を統括した表題です。五月二十七日まで教育実習を行っていたT先生が、最後に三Aの黒板に残したメッセージについて取り上げ、三年生へとその価値を広げた新たなメッセージが発信されています。(以下に少々抜粋します。)

◇T先生のメッセージの通り、苦手なことをやらなくてもいいような道を選ぶことはできます。しかし、敢えてそれ乗り越える道を選んだT先生。「人生に無駄なんてない」「目の前にあるチャンスや試練にはどんどん挑戦していつてくください」「今のうちにできる失敗はして、次に挑んでいつてくください」
これらの言葉たちは、これから進路に向かうあなたたちに聞いてほしい言葉ばかりです。
今、何かに悩んでいたとしても、それはあなたの人生の上で通るべき道なのです。今、何かにつまずいているとしても、そのつまずきはあなたにとって必要なものなのです。
ただ、この悩みやつまずきを意味のあるものにするには、今日の自分がどうあるかです。乗り越えるのは他の誰でもない、自分自身です。

温かみもありながら、自身について考えさせられるメッセージです。自分を変えようとする機会は自分次第で、いつでもその思い(決意)は抱くことはできます。その先に大きな違いが生じるのです。すぐに実行に移す、続ける、うまくいかなくても続ける、修正するといった自身の努力が加わらない限り、T先生のような思いをもつことはできません。

今まで楽な方、楽な方へと流れていた、敢えて辛いことから逃げていた、周りに合わせてばかりいた、目標達成に向けた努力ができなかった、という経験の繰り返し。面倒くさいことはやらず、自分の思いは違いながらも周りに合わせて行動する、目標を立ててもいつもできなかった、次は頑張りたい。」という反省をする。

何とかかしたいと思ったら、その時がチャンス!最初からうまくいくことなんてなかなかありません。まずは自分の思いを大切にしてみてください。続けること、続けることからスタートしてみてくださいはどうか?